

いどばた 第24号

気仙沼を笑顔に!!
~何もないトシネルに火を灯そう★ミ~



市内仮設住宅にお住まいの千葉さんは“気仙沼に希望の種をまきたい” “お世話になった気仙沼に恩返しをしたい” という気持ちを含め『気仙沼にバッティングセンターを建てる』という計画を立て、現在、松崎で整地作業を進めています。そのきっかけを作ったのは小学生の息子さんで、1時間半かかる岩手県のバッティングセンターへ行った帰り道「パパ、遠いね。気仙沼に作ってよ。僕はこうやって連れてきてもらえるけど、本当にやりたくても野球をやれない子が沢山いるんだよ。だから作って！！」という、息子さんの言葉だったそうです。千葉さんは、震災前に地元で牛乳屋さんを営んでいたこともあり、震災後復帰してオリジナル商品『希望ののむヨーグルト』を販売し、売り上げの利益の一部をバッティングセンターの建設資金として充てられています。また、バッティングセンターは野球の初心者や女性、車椅子利用の方まで様々な人が楽しめるように考え、7打席設けられる予定です。場所は『三峰ゴルフガーデン』の敷地内を借りており、悪天候などで工期は遅れていますが、完成予定は年内と考えています。



『希望ののむヨーグルト』の容器はバットの形になっていて、バット（容器）にボールのラベルを付けたデザインもあります。また、パッケージに描かれている星空は、震災翌日の夜空が目に焼き付く程綺麗で、そのときの星空がデザインとなっております。流れ星には息子さんを乗せ復興に向かう姿勢や、地元の人に希望を持ってほしいとの願いも込められています。ヨーグルトはクセはなく、とても飲みやすく『ヨーグルトを飲むと希望が持てます！！』ということです。一度、健康の為にも味わってみてはどうでしょうか(°▽°*)♪

希望の のむヨーグルト

1本450円(720ml)

■ お問い合わせ先 ■

(株) 千葉一商事
ミルクセンターちばいち

住所：気仙沼市松川78-1
電話：0226-22-1098



底上げYouth(ユース)

市内の高校生による有志団体「底上げYouth(ユース)」さんは、2012年9月に結成され、3チームで様々な方向から気仙沼の魅力を発見、発信しています。気仙沼の良さを改めて気付くことで高校生自らも日々成長し、「底上げYouthのメンバーは皆、日本一地元が好きだと言う自信があります！」と語る表情は、とてもいきいきとしていました★

フードチーム

苦手な人が多い気仙沼の郷土料理「あざら」を多くの人に食べてもらいたいという想いから、「どうすれば食べやすくなるか」をテーマに活動しています。これまでには、シチューに加えてチャウダー風にしたものや、チーズと一緒にドリアにしたものなど、様々な発想で調理法を提案してきました。

※あざらとは、白菜の古漬けとバラメヌケという魚を酒粕と一緒に煮た料理です。

恋人チーム

気仙沼の「恋人スポット」をオリジナルのシンクスやラブストーリーを交えて紹介しています。「煙雲館」を紹介したリーフレットでは、「恋人」と言う言葉を世間に広めた「落合直文」の歴史にも触れています。リーフレットは市内の施設や店舗を中心に置かれ、県外にも広まっています。いずれは紹介した恋人スポットを巡るツアーも企画中です。

お祭りチーム

みなとまつりを通して、気仙沼の魅力を全国の人達に知ってもらうことを目的に活動しています。気仙沼市民にも「みなとまつりの凄さ」を改めて知ってもらおうと言うことから、みなとまつりのアピールと、底上げYouthの紹介をデザインに織り込んだオリジナルうちわの製作に取り掛かっています。

底上げYouthフェイスブック 「いいね！」をクリック

<https://www.facebook.com/sokoageyouth>

気仙沼のゆるキャラ「ホヤぼーや」の形をした焼き菓子

「ホヤぼーや焼き」を製造している池原 修（いけはら おさむ）さんは、以前お住いの川口町と、現在お住いの赤岩杉の沢住宅の自治会長を務めています。ホヤぼーや焼きは、「会長が何かすれば、興味を持った人たちが集まって交流が出来るのではないか。」という池原さんならではの想いから始められました。

ホヤぼーや焼き

中には、あんこがたっぷり
入っています☆



ホヤぼーや焼きを作る焼き型と屋台は、池原さんの出身地である富山県の会社に製造を依頼しました。約2カ月後には完成品が手元に届けられ、その翌日に行われた「第62回 気仙沼みなとまつり」にて、初出店を迎えたそうです。その後も池原さんは、市内のイベントなどでホヤぼーや焼きを販売し、「再建の日まで、一人でも多くの方が健康でその日を迎えていただきたい。それが一番の願いであります」と話されていました。

ともしびプロジェクト

『ともしびプロジェクト』は、「3.11を忘れない」という想いを形にして伝えていくプロジェクトです。プロジェクトを始めたきっかけは、代表を務める杉浦 恵一(すぎうら けいいち)さんが、仮設住宅で支援活動をしていた際に耳にした「忘れないでほしい」という被災地からの声でした。市内では、毎月11日にそれぞれの「忘れない」という想いを込めたキャンドルが灯されています。活動は気仙沼だけにとどまらず、32カ所ある支部やフェイスブックを通して「被災地に希望の光を灯し続けよう」と全国からキャンドルが灯され続けています。



気仙沼の工房にて、キャンドルを作るワークショップを開催しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

ともしびプロジェクト事務局

〒988-0076 宮城県気仙沼市館山2-3-46

TEL 0226-25-9560

キャンドルを灯して欲しい、または何かのイベントとコラボして欲しいという要望にもお応えします。

ティラミス風 マシュマロムース

材料 (4人分)

A コーヒーマシュマロ

- ・マシュマロ・・・80g
- ・インスタント
コーヒー・小さじ2
- ・牛乳・・・・・・・200cc

B チーズマシュマロ

- ★ [マシュマロ・・・100g
牛乳・・・・・・・200cc
・クリームチーズ・100g
・レモン汁・・・少々
・ココアパウダー・適量

子供さんや友達など
と一緒に作ると、よ
り一層楽しめます。

作り方

- ① 耐熱ボウルにAの材料を入れ、レンジで2分半温め、混ぜてマシュマロを溶かします。
 - ② ①を耐熱グラスの半分まで流し入れ、冷凍庫で約30分間冷やし固めます。
 - ③ クリームチーズをレンジで温め柔らかくします。
 - ④ 耐熱ボウルにBの★の材料を入れ、レンジで2分半温め、混ぜてマシュマロを溶かします。
 - ⑤ ③に④を少しづつ加えながら混ぜ合わせ、最後にレモン汁を入れ混ぜ合わせます。
 - ⑥ ②に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固めます。
 - ⑦ ⑥の上にココアパウダーを振ります。
- ※ 材料を温める際は、各家庭でw(ワット)数が異なるため時間を調整をしながら温めてください。
※ レシピは500wのレンジを使用しています。
100w上がるごとに10秒程時間を短くして調整してください。



～忘れないをカタチに～



トモキャン

TOMOCAN 1400円



捨ててしまう口ウを集め、リサイクルして作られたキャンドルホルダーです。(全8色)

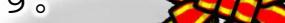
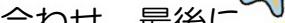
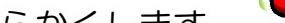
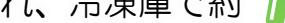
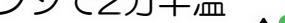
コネキャン

KONECAN 500円

手でこねて粘土のように形を作る、ミツロウ100%のキャンドルキッドです。



商品はインターネットで販売しております。直接お買い求めいただく場合は、事務局までお問い合わせください。



暖房器具の注意点

冬場は暖房器具が必需品ですが、誤った使い方をすると火災や一酸化炭素中毒など、事故の原因になる場合もあります。

正しい使い方で快適な冬を過ごしましょう！！

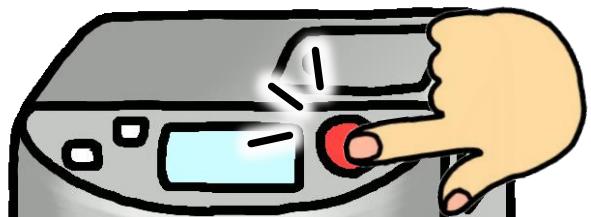
・近くにスプレー缶を置かない(使用しない)

熱が当たると破裂する恐れがあり、スプレー缶内のガスに引火すると大変危険です。



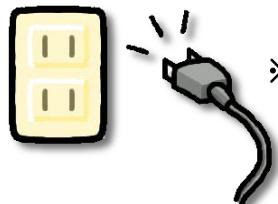
・就寝時はスイッチを消す

寝返りをうった際に布団などが接触し、引火する危険性があります。



・長時間使用しないときはコンセントを抜く

気付かぬうちにスイッチに触れてしまい、電源が入ってしまう場合があります。



※コンセントは、濡れた手で触らないようにしましょう。

・周りに洗濯物を干さない

洗濯物の他にも「カーテン・布団・ふすま」など、近くに燃えやすい物を置かないようにしましょう。



一酸化炭素中毒に注意

「一酸化炭素」は無色・無臭の气体です。石油ストーブなどの「燃焼」を行う暖房器具を使用しているときは、常に一酸化炭素が発生しています。換気が不十分で室内の一酸化炭素濃度が上がると、頭痛、めまい、耳鳴り、吐き気などの症状が出ることもあります。少しでも異常を感じた際は暖房器具の使用を止め、十分な換気をしてください。

窓を開ける、換気扇を回すなど
こまめな換気を心掛けましょう。



紹介したい情報や、おすすめのレシピが
あれば是非教えてください☆
読んでみた感想なども受け付けています。
下記の住所、またはお近くのKRAスタッフ
にお話し下さい(^-^)

いとばた25号は
1月下旬に
発行する予定です

KRAってなに??

KRAとは「(社)気仙沼復興協会」の略です。気仙沼市民の力で気仙沼を復興させることを目的とし、震災による失業者を中心に設立されました。清掃作業、写真救済作業、ボランティアの受け入れ、発掘作業、仮設住宅や周辺地域のコミュニティ支援などの復興事業を行っています。



協力
★SEEDS ASIA
(シーズアジア)



★CIVIC FORCE
(シビックフォース)

CIVIC FORCE

作成・編集
(社) 気仙沼復興協会
[KRA] 福祉部
気仙沼市赤岩港14-1 2F
TEL 0226-22-6211
FAX 0226-22-6212